

INTERVIEW

X2Webの日本人開発者たちが語る

「Mac版プラグインの開発秘話」

X2Web Mac版プラグインの開発は、実は日本国内で行なわれていたのだ！

「なぜX2Webなのか？」Mac対応の今後は？」すべての疑問に彼らが答える



梅野 勇氣氏

株式会社シーシーアールジャパン
取締役技術担当

X2WebプラグインのMac版開発の責任者でMozilla Projectに関しても詳しい梅野氏。「CD-ROM MACLIFEに収録したベータ版のX2Webプラグインをぜひ試していただき、新しい意味でのWebデザインの可能性を体感してほしい」という

CD-ROM MACLIFEに収録された「X2Webプラグイン(P.210～211)」はさっそく試してもらえただろうか？しかし、X2Webはまだ生まれただばかりの技術で、発展はまだこれからだ。そこで、実際にこのMac版プラグインの開発に従事するシーシーアールジャパンのスタッフに、今後の展開や開発秘話などを披露してもらった。

X2Webの登場で、Webデザインの世界に革命が起こる

「X2Web」という製品をわかりやすく説明していただけますか？

梅野 X2Webは、Microsoft Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのブラウザソフトの“ルックス”をデザインするためのサーバー管理者向けツールキットです。もともとは韓国のCCR社というところで開発されまして、去年の8月から日本国内で販売を開始いたしました。本製品を使うことで、たとえばギター店のWebサイトに



地本 博幸氏

株式会社シーシーアールジャパン
技術ディレクター

Mac版プラグインの開発チームに従事。「X2WebはWindows / Mac版を含め、常に新しい機能を提供していく予定です。とくに両プラットフォームに関しては次期Version 1.5で統一化される予定なので、ぜひ楽しみにしておいてください」と語る

訪れた客のブラウザソフトをまるごと“ギター”の形”にすることができたりします。

わざわざ訪問者のブラウザソフトの外見をカスタマイズするメリットは何ですか？

梅野 ご存じのように、多くのWebサイトではMacromedia FlashやJavaScriptを応用したりすることで、ページデザインはかなり高度になってきました。しかし、残念ながらそれらはページのみであって、ユーザーから見ると単なるブラウザの“内側” だけの話です。

どんなにデザインの優れたWebサイトを訪問しても、ユーザー側のInternet ExplorerやNetscapeの“外見” は同じなのです。企業PRやパナー広告も結局、その“内側”の世界に閉じ込められたままになっているのです。これはあまりにも悲しすぎます。

しかし、当社のX2Webを使えば、自分のデザインを訪問者のブラウザ全体に反映させることができます。

X2Webはどのようにして
ブラウザソフトの外見を変更するのか？

X2Webは、具体的にはどのような構造でそれを実現しているのでしょうか？ブラウザソフトのプログラム・コードを直接ハッキングしているのでしょうか？

地本 いいえ、全然違います。基本的には自動インストール型のブラウザ・プラグインを使ったシステムでして、X2WebユーザーのWebサーバーを訪れたブラウザソフトに対し、あらかじめ作成したおいた“ルックス”データを送信し、ブラウザの外見を変更してしまうのです。ですから、ブラウザ自体の改造とかはまったく行ないません。

「自動インストール型のプラグイン」ということは、訪問者がわざわざ自分のInternet ExplorerやNetscapeにX2Webのプラグインをインストールする必要がないということですか？それは楽でいいですね(笑)

地本 はい。ただし、これはまだWindows用のブラウザでのみ実現されている機能でして、Mac用のブラウザソフトに関しては、技術的な難題があり、まだユーザーが自分でX2Webプラグインをインストールする必要があります。いずれMac版でもこのような機能を実現したいと考えています。

肝心のWebサーバー側はどういう仕組みになっているのでしょうか？やはり特別なサーバープログラムを稼働させる必要があるのでしょうか？

地本 いいえ、Webサーバー側の構造もきわめて単純です。基本的には、Apacheなどの指定ディレクトリの下に前述の“ルックス”画像データを置き、当該HTMLファイルにX2Webプラグインを呼び出すための独自のタグコードを追加するだけです。ですから、特殊なサーバープログラムなどは必要ありませんし、IISやApache、Lotus Dominoなどの一般的なWebサーバー